

日本保育ソーシャルワーク学会 第9回研究しずおか大会開催のご案内
 こどもまんなか社会における保育ソーシャルワークの役割
 －こどもの声を聴くために－

大会長 静岡福祉大学 学長 増田 樹郎

下記のとおり、第9回研究しずおか大会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちいたしております。

記

1. 日程：2023年12月2日（土）～3日（日）
2. 会場：静岡福祉大学（静岡県焼津市本中根 549-1）
3. 大会テーマ
こどもまんなか社会における保育ソーシャルワークの役割 －こどもの声を聴くために－
4. 大会スケジュール

◆1日目（12月2日）

9:30～ 受付開始（講義・厚生棟内 食堂）

10:00～11:30 学生実行委員会企画 ★
 ○地域子育て支援ネットワーク会議 ～みんなの交流会～（第1大講義室）
 ○パネル展示(大会1日目・2日目)「こどもまんなか」活動するなかまたち
 ※パネル展示は静岡福祉大学内食堂で2日間開催（学食・書籍販売等の出店あり）
 ※大会2日目のみ、絵本展示コーナー（静岡福祉大学地域連携推進センター）あり
 ※学生実行委員会企画は、藤枝市地域政策研究・創造事業の補助金を活用して実施しています。

13:00～ 開会式（第2大講義室） 大会長挨拶 増田 樹郎（静岡福祉大学 学長）
 大会概要説明 実行委員長 坂田 尚子（静岡福祉大学 特任教授）

13:20～15:40 大会シンポジウム（第2大講義室）★
 テーマ 『保育の現場をまんなかに「保育ソーシャルワーク」を考える』
 シンポジスト 寺澤 達也（リーザプレスクール 園長）
 後藤 久美（静岡市教育委員会 スクールソーシャルワーカー）
 福井 素麗香（認定NPO法人フローレンス 保育ソーシャルワーカー）
 新免 香織（認定NPO法人フローレンス 事務局）
 コーディネーター 山城 久弥（鎌倉女子大学 講師）
 コメンテーター 三好 明夫（京都ノートルダム女子大学 教授）

16:00～17:00 学会10周年記念対談企画（第2大講義室）★
 テーマ 『こどもまんなか社会における保育者のソーシャルワークを考える』
 対談者 全国保育士会会長：村松 幹子（たかくさ保育園 園長）
 日本保育ソーシャルワーク学会会長：伊藤 良高（熊本学園大学 教授）
 コーディネーター：立花 直樹（関西学院聖和短期大学 准教授）

17:30～ 情報交換会（静岡福祉大学 講義・厚生棟内 食堂）

◆ 2日目 (12月3日)

9:00～ 受付開始 (講義・厚生棟内 食堂)

9:20～12:00 の間で設定 ★★ 自由研究発表 (101・102・103教室を予定)

※本企画は、学会会員のみ申し込み可能の企画であり、
各報告のテーマや時間は、確定次第、お知らせします。

9:20～10:20 学会研究助成金報告 (第2大講義室) ★★★

『貧困と保育ソーシャルワーク』

研究代表者：立花 直樹 (関西学院聖和短期大学 保育科 准教授)

共同研究者：丸目 満弓 (大阪城南女子短期大学 総合保育科 准教授)

明柴 聡史 (富山短期大学 幼児教育学科 准教授)

田中 秀和 (静岡福祉大学 社会福祉学部 福祉心理学科 准教授)

渡辺 俊太郎 (大阪総合保育大学 児童保育学部 児童保育学科 教授)

西川 友理 (和歌山大学白鳳短期大学部 総合人間学科 専任講師)

河崎 美香 (富山国際大学 子ども育成学部 子ども育成学科 准教授)

◆ 大会企画 ◆

10:00～12:00 ワークショップ (401・402・403教室を予定) ★★★

『保育現場における子どもと家庭のアセスメントー気づきがみえると保育が光るー』

企画者：灰谷 和代 (静岡福祉大学 子ども学部 子ども学科 准教授)

登壇者：阿部 明恵 (本楯保育園 園長)

斎藤 美穂 (本楯保育園 統括主任保育士)

大沼 清佳 (本楯保育園 保育士)

小畑 宏一郎 (日本コンピューター株式会社)

13:00～16:00 シンポジウム&グループディスカッション (203教室) ★★★

『スクールソーシャルワーカーから見る保育ソーシャルワークへの期待

ー子どもの育ちと家族を支えるためにー』(1部・2部あり)

コーディネーター：杉村 佳代子 (静岡市教育委員会スクールソーシャルワーカー)

登壇者：望月 枝美 (静岡市教育委員会スクールソーシャルワーカー)

望月 浩世 (静岡市立こども園 園長)

豊田 沙奈子 (菊川市私立こども園 保育主幹教諭) 他1名

13:00～14:30 実践報告 (204教室) ★★★

『発達に特性のある児童対象の「しずふく発達教室」の活動について』

報告者：齋藤 剛 (静岡福祉大学 子ども学部 子ども学科 教授)

13:00～15:00 シンポジウム（101教室）★★★

『里親子支援の現状と課題 ―保育現場に知ってほしい！里親養育のことー』

企画者：上野 永子（静岡福祉大学 子ども学部 子ども学科 准教授）

登壇者：見原 照久（児童家庭支援センター「はるかぜ」センター長）

内山 喜美子（児童家庭支援センター「はるかぜ」里親等相談支援員）

佐野 多恵子（静岡市里親家庭支援センター 次長）

瀧澤 文也（児童養護施設 わこう 里親支援専門相談員）

13:00～14:00 事例検討会（401教室）★★★

『こどもと親の見方とその支援 ―保育・看護・保健・福祉・心理の様々な視点からー』

企画者：中村 美砂（奈良保育学院）

日比 千恵（四日市看護医療大学）

登壇者：木村 幸恵（浜松医科大学）

久保田 幸年（なかがみこども園）

城田 圭子（三重郡菰野町役場）

山中 博善（静岡県中央児童相談所）

山田 裕子（特定非営利活動法人 O'hana 親と子の絆を育むお手伝い）

橋本 久美子（特定非営利活動法人 O'hana 親と子の絆を育むお手伝い）

14:00～16:00 ラウンドテーブル・ディスカッション（102教室）★★★

『児童養護施設と医療との連携 ―精神医療を中心にー』

企画者：川 英友（静岡英和学院大学）

山田 裕一（関西福祉科学大学）

話題提供者：遠藤 友也（児童養護施設 わこう）

大塚 允人（児童養護施設 春風寮）

山内 園絵（児童養護施設 清明寮）

14:00～16:00 ラウンドテーブル・ディスカッション（103教室）★★★

『母子生活支援施設における保育とソーシャルワークの実践と融合

―母と子の未来へのまなざしー』

企画者：須藤 八千代（愛知県立大学 名誉教授）

コメンテーター：横山 登志子（札幌学院大学 教授）

話題提供者：中村 菜津子（母子生活支援施設 カサ・デ・サンタマリア 保育士・社会福祉士）他

14:30～16:30 協力団体企画：ワークショップ（202教室）★★★

『不登校・ひきこもりにならない幼児期の子育て』

企画者：山下 泰孝（特定非営利活動法人 静岡県教育フォーラム 理事長）

- ※大会 1 日目シンポジウム★と対談★、大会 1 日・2 日目の学生実行委員会企画（パネル展示）★は、一般公開企画（参加費無料）です。
- ※自由研究発表★★は、**学会会員のみを対象とした募集企画**です。（募集要項は 11 頁以降参照）
- ※12月2日、3日両日も書籍等の販売コーナーを設置します。
- ※12月2日、3日両日も、学内食堂にて、学食の一部メニューの販売（数量限定）を行います。
- ※大会 2 日目（12月3日）の大会企画★★★は、**学会会員を除いて、1 企画につき 500 円で企画単位の参加が可能です**。地域の皆様や本学会に関心のある方、ぜひ、ご参加ください。配布資料等の準備の関係上、事前申し込みをお願いいたします。当日参加の場合、資料等の準備が間に合わない場合があります。**複数の企画に少しずつ参加したい方は、2 日間フリーパスをお申込みください**。
- ※当日配布する抄録集は、「**2 日間フリーパス**」を申し込まれた方に配布いたします。

5. 参加申込み及び研究発表申込みについて

ホームページにある参加申し込みフォームもしくは下記 URL や右下 QR コードを読み込んで、個々に必要事項を入力してお申し込みください。一般公開企画（参加費無料）のみ参加の方も、事前にお申し込みいただけますと、当日の受付がスムーズになります。自由研究発表は学会会員のみエントリー可能で、お申し込み後にメールにて発表要旨の提出が必要となります。

6. 大会参加費及び情報交換会費 **※10月23日までの入金を「事前受付」とします。**

| 費目 | 会員種別 | 10月23日までの事前受付 | 10月24日以降および当日参加 |
|---------------------|----------------|---|-----------------|
| 大会参加費 (2日間フリーパス) | 正会員・機関会員 | 4000円 | 5000円 |
| | 一般 | 4500円 | |
| | 学生（学部生） | 500円 | 1000円 |
| 情報交換会費 | 会員および一般・学生 | 3500円 | 4000円 |
| 大会 2 日目企画を選択して参加 | 会員外 (一般・学生) | 1 企画参加につき500円 ※この枠のみ事前申し込み当日払い可としますが、準備の関係上、なるべく事前にお申し込みください。 | |

※ 高校生以下は情報交換会を除いて参加費無料です。

- 学会会員用申し込みフォーム：<https://forms.gle/BoiDJMTWNTKUqeqV6>
- 一般・学生用申し込みフォーム：<https://forms.gle/ZXzWaDwsK95M4X1D9>

7. 参加費の振込先

【金融機関】 静清信用金庫(金融機関コード：1502)

【支店名】 西焼津支店(店番：041)

【口座種類】 普通預金 【口座番号】 0106106

【口座名義】 日本保育ソーシャルワーク学会研究しずおか大会

※振込手数料は各自でご負担ください。一度入金された参加費等は返金できません。



8. クロークについて

大会両日とも、会場内に設置いたします。場所は、講義厚生棟の104教室です。
当日、受付にてお申し出ください。

9. 大会事務局 ※大会当日の大会本部は105教室となります。

〒425-8611 静岡県焼津市本中根549-1 静岡福祉大学内 灰谷和代研究室
<お問い合わせ先> e-mail : jarccsw.shizuoka@gmail.com (担当：杉山・灰谷)

10. 大会ホームページについて

本大会では、大会ホームページを開設しています。
ぜひ、ご覧ください。 ※セキュリティ環境によって表示されない場合があります。
大会 HP の URL : <https://sites.google.com/view/jarccsw-shizuoka/>
学会 HP の URL : <https://jarccre.jimdo.com/>



(大会HP)



(日本保育SW学会HP)

11. 第9回研究大会組織

○日本保育ソーシャルワーク学会

学会会長：伊藤 良高 (熊本学園大学 教授)

<学会事務局>

学会事務局長：永野 典司 (九州ルーテル学院大学 教授)

学会事務局書記：宮崎 由紀子 (中九州短期大学 教授)

香崎 智郁代 (九州ルーテル学院大学 准教授)

<大会担当理事> 三好 明夫 (京都ノートルダム女子大学 教授)

柴田 賢一 (常葉大学 教授)

立花 直樹 (関西学院聖和短期大学 准教授)

灰谷 和代 (静岡福祉大学 准教授)

山城 久弥 (鎌倉女子大学 講師)

○日本保育ソーシャルワーク学会第9回研究しずおか大会実行委員会

大会長：増田 樹郎 (静岡福祉大学 学長)

副大会長：齋藤 剛 (静岡福祉大学 教授)

長坂 和則 (静岡福祉大学 教授)

運営顧問：二木 秀幸 (静岡福祉大学 教授)

渡邊 英勝 (静岡福祉大学 教授)

大会実行委員長：坂田 尚子 (静岡福祉大学 特任教授)

大会副実行委員長：田中 秀和 (静岡福祉大学 准教授)

鶉 領太郎 (静岡福祉大学 講師)

大会事務局長：灰谷 和代 (静岡福祉大学 准教授)

事務局長補佐：杉山 航一 (日本福祉大学大学院 研究生)

《大会実行委員》（五十音順・敬称略）

阿部明恵・上野永子・内山喜美子・遠藤友也・大塚允人・大沼清佳・小畑宏一郎・川英友
木村幸恵・久保田幸年・後藤久美・小林広昭・斎藤美穂・佐野多恵子・柴田賢一・城田圭子
杉村佳代子・杉山航一・瀧澤文也・立花直樹・豊田沙奈子・富田克己・中村菜津子・中村美砂
橋本久美子・日比千恵・見原照久・三好明夫・望月枝美・望月浩世・八木朋美・山内園絵
山城久弥・山中博善・山田祐一・山田裕子・横山登志子 他

《静岡福祉大学学生実行委員会》

学生実行委員長：杉本祥太郎

学生実行委員（五十音順）

大石真由・齋川蒼斗・玉川実京・丸山葵・村木裕一 他

12. 主催・後援

○主催

日本保育ソーシャルワーク学会

日本保育ソーシャルワーク学会第9回研究しずおか大会実行委員会

○後援（申請中含む）

静岡県・静岡県教育委員会・静岡県社会福祉協議会・静岡市・静岡市教育委員会

浜松市・浜松市教育委員会・焼津市・焼津市教育委員会・焼津市社会福祉協議会

藤枝市・藤枝市教育委員会・藤枝市社会福祉協議会・島田市・島田市教育委員会

島田市社会福祉協議会・磐田市・磐田市教育委員会・富士市・富士市教育委員会

静岡県保育士会・静岡県社会福祉士会・静岡県精神保健福祉士協会

静岡英和学院大学・静岡福祉大学 他

○協力

特定非営利活動法人静岡県教育フォーラム・特定非営利活動法人静岡市里親家庭支援センター

社会福祉法人葵会・社会福祉法人春風寮・社会福祉法人和光会 他

皆さまからのご支援、誠にありがとうございます。

【情報交換会のご案内】

会員相互の親睦と交流を深め、情報を交換する場として大会1日目（12月3日）に下記のとおり情報交換会を開催いたします。

記

日時：2023年12月2日（土）17：30～

会場：静岡福祉大学 講義・厚生棟内 食堂

参加費：事前納入（10月23日まで）3500円

10月23日以降および当日参加は4000円です。

【大会会場へのアクセスについて】

《日程》 2023（令和5）年12月2日（土）～3日（日）

《会場》 静岡福祉大学

〒425-8611

静岡県焼津市中根549-1

《アクセス》

※電車をご利用の場合、最寄り駅は、JR 焼津駅、JR 西焼津駅、JR 藤枝駅です。

※藤枝駅からは静岡福祉大学行きのバスが発車しておりませんので、JR 焼津駅までご乗車後、バスもしくはタクシーをご利用ください。

※駐車場はありますが、駐車可能台数に限りがあります（構内駐車場が満車の場合は、第2駐車場もしくは学生駐車場に駐車してください）ので、なるべく、乗り合わせおよび公共交通機関のご利用をお願いいたします。



※ 構内駐車場は正門入って左側になります。第2駐車場、学生駐車場も開放いたします。

※ 駐車場内におけるトラブル等について、学会および大会事務局では一切対応できませんので、ご承知おきください。

※ 土日はバスの本数が減少しますので、ご注意ください。詳細は大学 HP <https://suw.ac.jp/about/access.html>

○焼津駅(焼津大島線)から大学まで



焼津駅南口バスロータリー2番バス停「焼津大島線」より「大島新田行き」又は「静岡福祉大学行き」に乗車。「静岡福祉大学入口」で下車。点滅信号を渡ると静岡福祉大学の正門が見えます。
※焼津市立病院止まりのバスがありますので、ご乗車する前にご注意下さい。

○焼津地区タクシー

| 店舗名 | TEL |
|-------------------|--------------|
| 1 アンビ・アタクシー | 054-628-2135 |
| 2 株式会社エム・エータクシー | 054-621-2007 |
| 3 キングタクシー静岡株式会社 | 054-627-2261 |
| 4 港タクシー株式会社 | 054-627-3710 |
| 5 港タクシー株式会社 事務所 | 054-628-9080 |
| 6 焼津港タクシー株式会社 | 054-627-3710 |
| 7 焼津港タクシー株式会社 事務所 | 054-628-9080 |
| 8 有限会社小泉タクシー | 054-622-0016 |

【大会会場案内図】

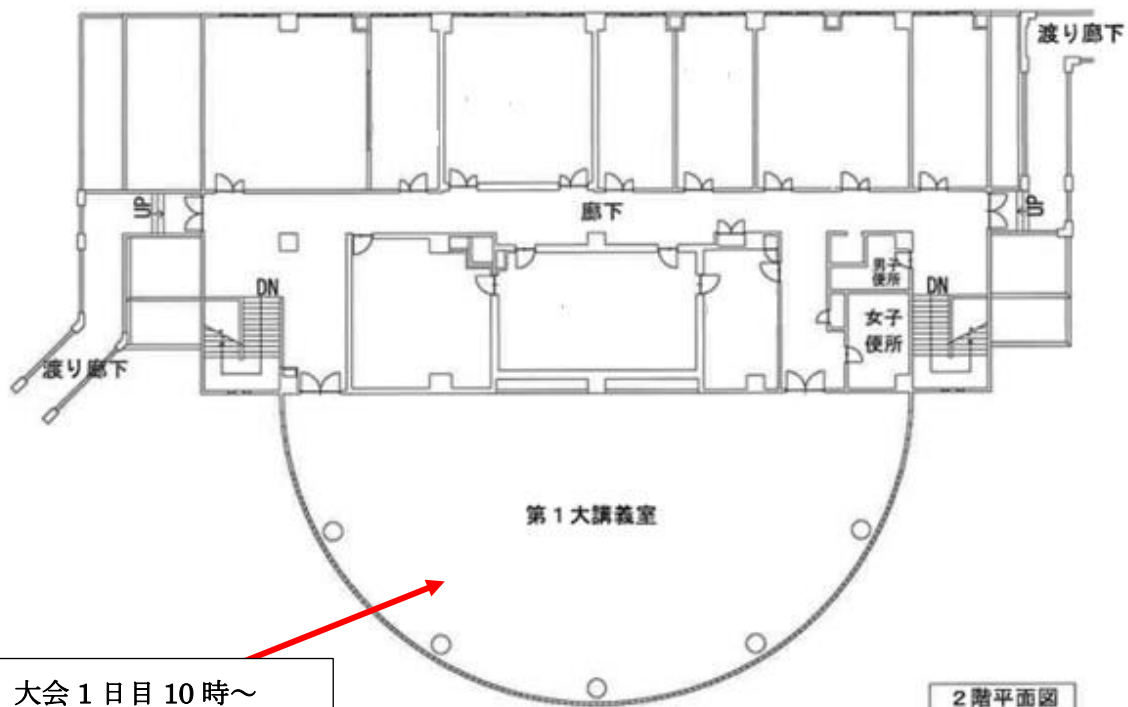


大会 2 日目
 ・自由研究発表
 ・各企画会場

大会 1 日目
 ・開会式・シンポジウム・対談
 大会 2 日目
 ・各企画会場

・受付・クローク
 ・パネル展示
 ・学食・書籍等の販売
 ・情報交換会（大会 1 日目）

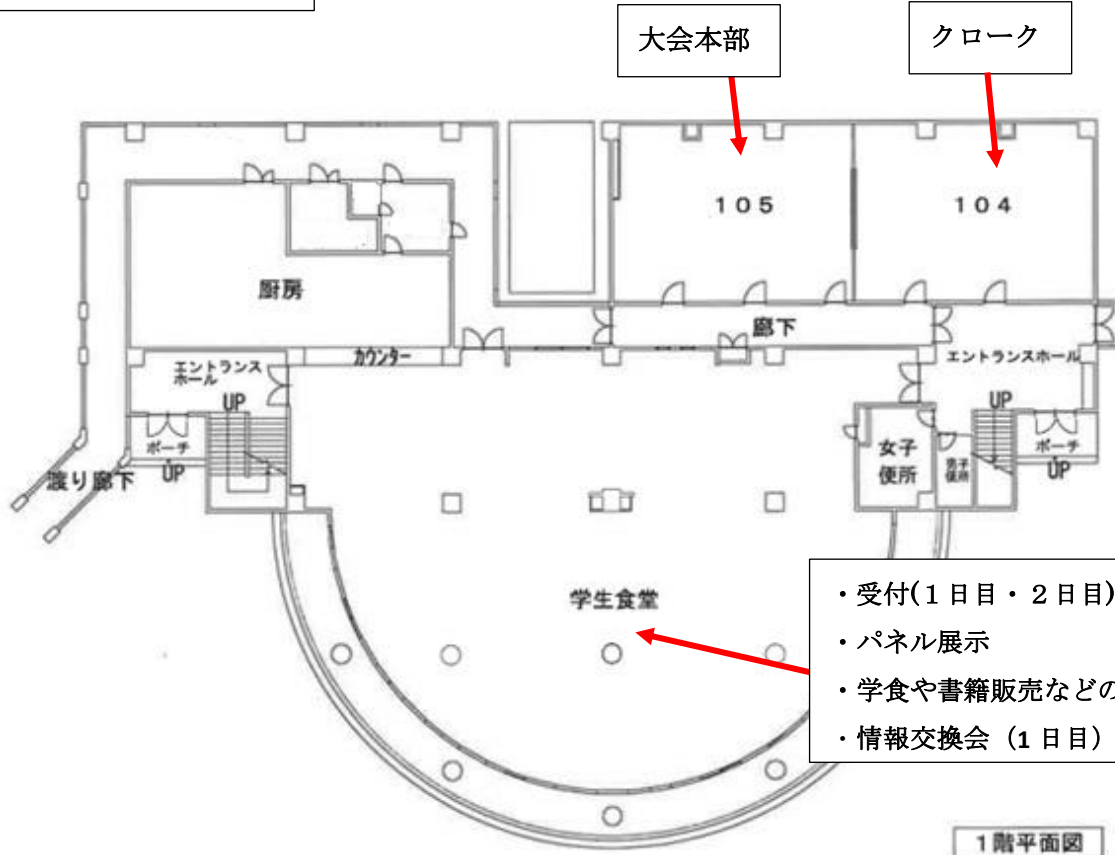
講義・厚生棟



大会1日目10時～
学生実行委員会企画

大会本部

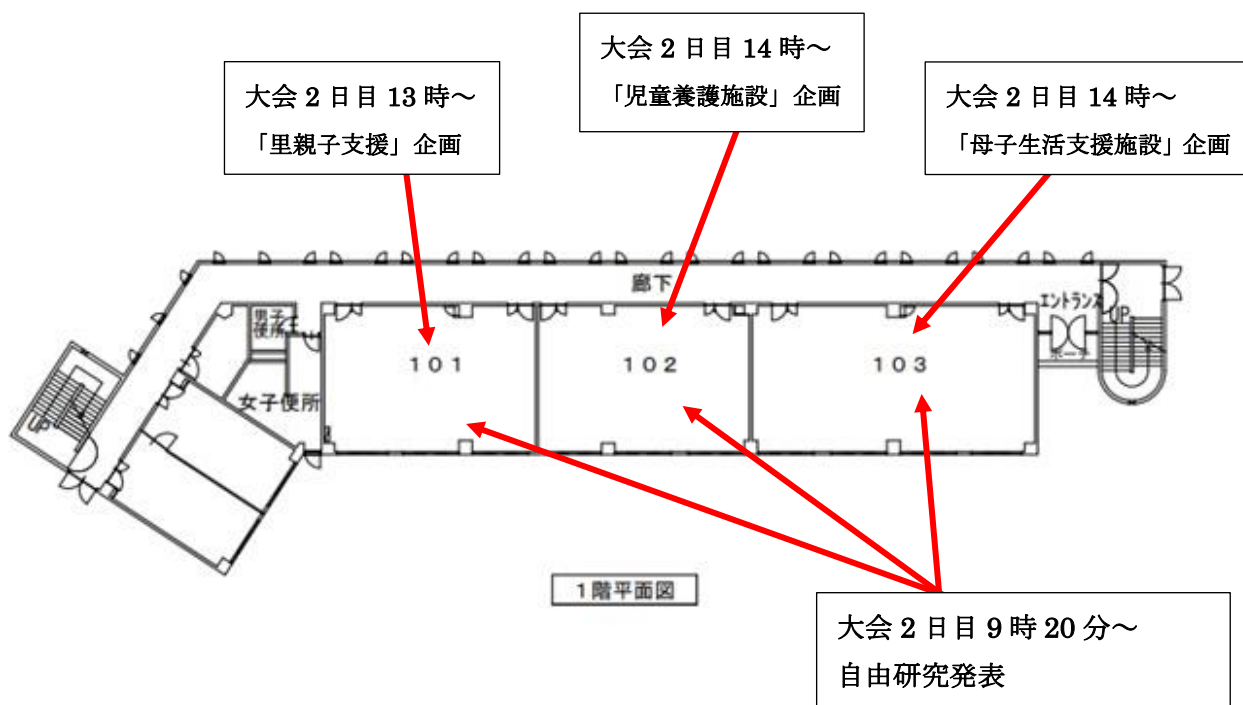
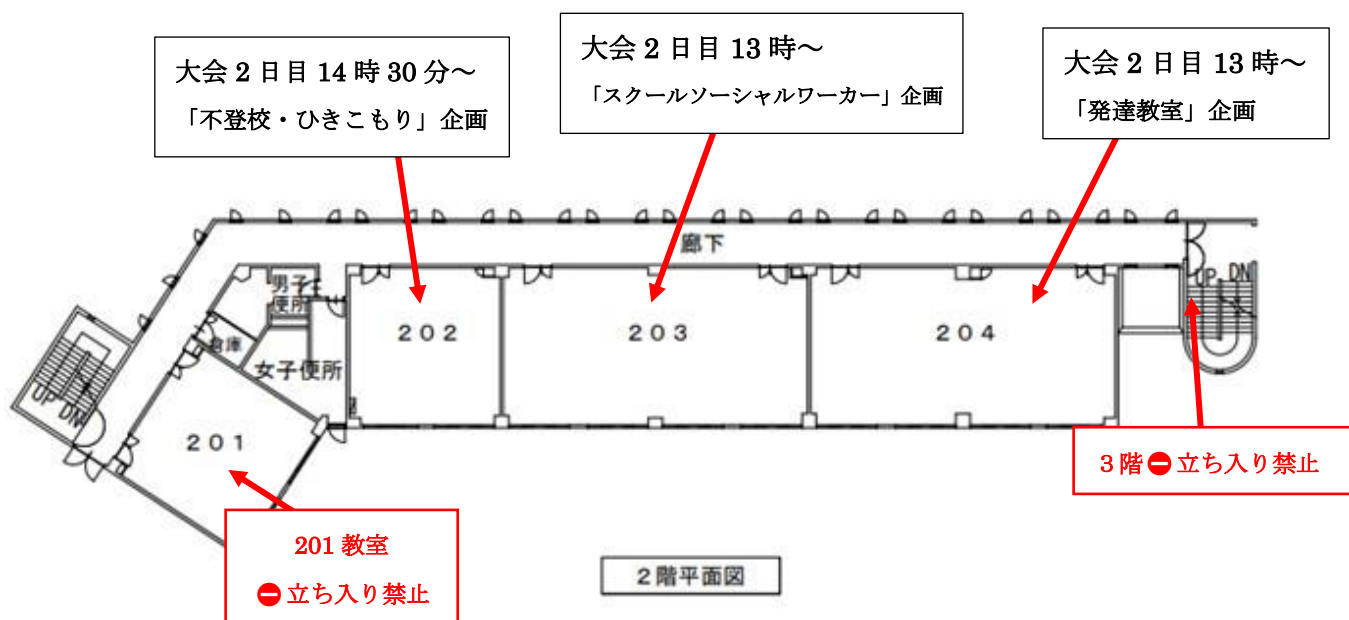
クローク



- ・受付(1日目・2日目)
- ・パネル展示
- ・学食や書籍販売などの出店
- ・情報交換会(1日目)

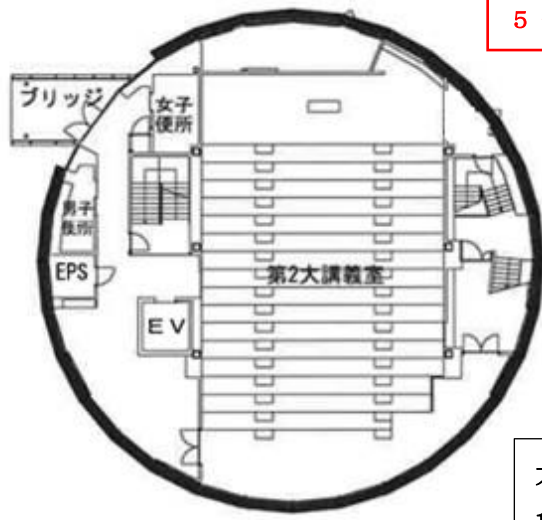
教室棟

※2階の201教室および3階は、12月2日・3日両日とも「立ち入り禁止」です。

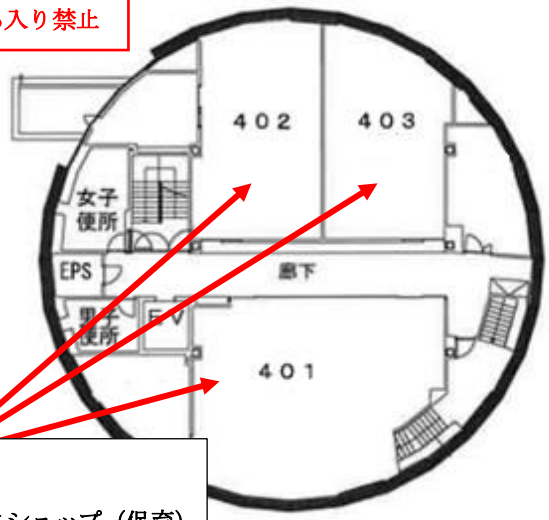


福祉創造館

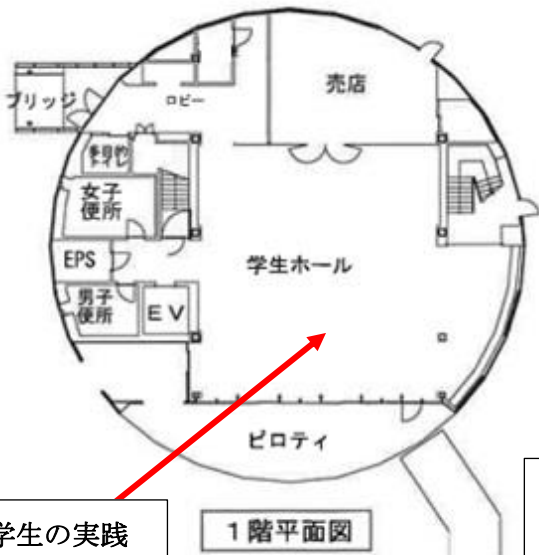
※5階・6階は、12月2日・3日両日とも「立ち入り禁止」です。
※1階売店は、ご利用できませんが、売店横の自動販売機は利用できます。



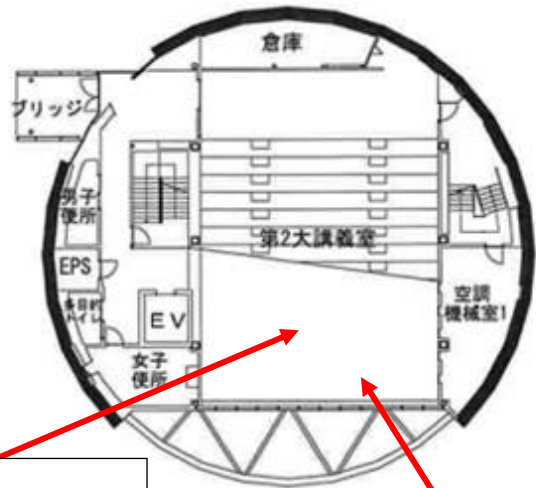
5・6階 立ち入り禁止



大会 2 日目
10 時～ワークショップ (保育)
13 時～事例検討



学生の实践
(調整中)



大会 1 日目
13 時～開会式・挨拶
13 時 20 分～
大会シンポジウム
16 時～
10 周年記念対談

大会 2 日目
9 時 20 分～
学会研究助成報告

【自由研究発表者募集のご案内】

自由研究発表の発表者（筆頭者）は、「学会会員」に限ります。（当学会会則第 7 条）

[日本保育ソーシャルワーク学会会則（2013年11月30日承認）](#) - [日本保育ソーシャルワーク学会（jimdo.com）](#)

＜自由研究発表への申し込み方法＞

以下の手続きを、**10月23日（月）17時**までに済ませてください。

- ① 大会申し込みフォームにて、「大会参加」「自由研究発表」をお申し込み、参加費の事前入金をお願いします。※筆頭者はじめ連名報告者すべての方の個々の「大会参加」と「自由研究発表」のお申し込みを済ませてください。
- ② 自由研究発表要旨原稿作成要項（12頁）に従い、発表要旨原稿を大会事務局まで添付送信してください。

◆ 発表要旨提出先（第9回研究しずおか大会事務局）
E-mail : jarccsw.shizuoka@gmail.com

《大会当日のお願い》

1. 発表者の皆様へ

- 1) 発表要旨集以外のレジメや補足資料を使用される発表者は、各自で30部程度準備して会場で配布してください。当日、大会事務局で印刷は承れません。
- 2) 発表者及び座長は、10分前には指定された会場にお集まりください。また、PC（PowerPoint）をご利用の場合は、9時10分までに備え付けのPCにファイルを移し替えてください。なお、機器動作をご確認の上、各自で操作願います。
- 3) 連名発表者も本大会に参加し、当該の発表と討論に加わってください。
- 4) 自由研究発表は、1発表につき15分、質疑応答5分
 - 1 鈴・・・発表開始後10分経過
 - 2 鈴・・・発表開始後15分経過（発表終了）
 - 3 鈴・・・発表開始後20分経過（質疑応答終了・次の発表開始）
- 5) 全ての自由研究発表終了後に、全体討議をしますので、原則、発表者は分科会が終了するまで、分科会の教室を退出できません。（座長の許可なく退室された場合、発表を取り消しになる場合があります。）

2. 座長の皆様へ

- 1) 座長は研究発表の開始15分前にお集まりいただき、座長間および発表者との打合せをお願いいたします。
- 2) 発表者が欠席の場合（発表取り消しを含む）、発表終了後に大会事務局に報告してください。その場合は、次の発表を繰り上げて行うなど座長間で話し合って適切に運営してください。
- 3) 会場の参加者からの質問には、所属と名前を明らかにするようにお伝えください。
- 4) 会場の参加者からの質問が少ないときは、座長は、適宜、質問をして、議論が深まるように配慮してください。
- 5) 各分科会は、次の企画の準備がありますので、12時までに全て終了してください。

《自由研究発表要旨原稿作成要領》

(1) 用紙

- ・1つの研究発表につき A4 サイズ 1 ページとする。(13 頁「作成イメージ」参照)
- ・上下左右、各 20mm の余白をとる。

(2) 原稿の構成

- ・ページ上部に「題目・発表者氏名と所属」を大きく示す。
- ・「題目」と「発表者氏名と所属」の下から 2 段組で本文を書く。
- ・図表は本文内に掲載する。

(3) 「題目・発表者氏名（所属）について」

- ・題目：ゴシック系フォント・中央揃え・原稿の中で一番大きいフォントサイズ（12-14pt）とする。
- ・発表者氏名；明朝系フォント・中央揃え・フォントサイズ（10-11pt）とする。
- ・連名発表者がいる場合は筆頭発表者の前に○をつける。

(4) 本文について

- ・題目・発表者氏名（所属）下を 1 行あけ 2 段組で作成する。段組の間隔は約 2 文字文あける。
- ・明朝系フォント・左揃え・フォントサイズ（10-10.5pt）とする。
- ・見出しをゴシックや太字にするなどして読みやすくする。
- ・本文の文字数・行数は、余白の範囲内で自由に設定する。ただし、行間や文字送りを詰め過ぎて読みにくくならないように気をつける。一段が 22～24 字×45～55 行を目安とする。

(5) 図表について

- ・図表にはタイトルをつける。複数の場合は通し番号をつける。
- ・印刷した際に読み取りにくくならないように注意すること。

(6) 倫理的配慮について

- ・『日本保育ソーシャルワーク学会倫理綱領』を必ず確認する。
参照：[学会倫理綱領・日本保育ソーシャルワーク学会 \(jimdo.com\)](http://jimdo.com)
- ・所属研究機関等で倫理審査を受けた研究である場合は審査について明記し、審査を受けていない研究の場合は、必ず、『日本保育ソーシャルワーク学会倫理綱領』を確認して「日本保育ソーシャルワーク学会倫理綱領に基づいて配慮している」ことを明記する。いずれかの明記がない場合は、修正を求める場合があります。

・原稿期限・・・2023 年 10 月 23 日（月） 17：00 厳守

日本保育ソーシャルワーク学会研究倫理綱領

日本保育ソーシャルワーク学会ホームページからの引用

前文

日本保育ソーシャルワーク学会（以下、本学会）は、会則第3条の本学会の目的の達成に関わり、すべての人間の基本的人権と尊厳を最大限に尊重し、子どもと家庭の最善の利益および幸福の実現に資する社会的活動を全うするため、ここに本綱領を制定する。

日本保育ソーシャルワーク学会会員（以下、会員）は、保育ソーシャルワーク学の研究者・教育者・実践者としての社会的自覚と責任の下、研究・教育・実践活動等に携わるなかで、子どもと家庭の最善の利益を損なわないよう十分な配慮が求められる。

本学会は、上記主旨に基づき、以下の条項を定める。

（人権配慮義務）

第1条

会員は、研究・教育・実践活動等の実施および公表において、子ども・その家族・その他、すべての基本的人権を尊重し、配慮しなければならない。

（インフォームド・コンセント）

第2条

会員は、研究・教育・実践活動等の実施すべてについて、対象となる個人、団体・組織、地域、その他の関係者、情報提供者もしくは研究協力者に対して事前にその目的および内容等を十分に説明し、同意・了承を得ることを原則とする。

2 研究・教育・実践活動の協力者の同意・了承の判断が困難である場合には、研究・教育・実践活動の協力者を保護する立場にある者の同意・了承の判断を得なければならない。

（情報の保管・管理義務）

第3条

会員は、研究・教育・実践活動等によって得られた情報については、それを厳重に保管・管理し、研究・教育・実践活動の協力者の承諾なく、本来の目的以外に使用してはならない。

（研究成果の公表に際する社会的影響等への配慮）

第4条

会員は、研究・教育・実践活動等で得られた成果を公表する場合は、それがもたらす社会的意義、社会的影響に十分配慮して研究者・教育者・実践者としての責任を自覚して行わなければならない。

（個人情報管理及び秘匿）

第5条

会員は、研究・教育・実践活動の協力者等の個人情報などが守られ、特定されないことがないように、十分に配慮しなければならない。

（剽窃及び捏造等の禁止）

第6条

会員は、研究活動等の実施にあたり、他者の研究成果の剽窃、他者のアイデア等の盗作、調査データなどの偽造・捏造・改竄など、不正行為をしてはならない。

(多重投稿の禁止)

第7条

会員は、研究成果を原著論文等によって公表する際には、多重（二重）投稿してはならない。

(研究資金の適正使用)

第8条

会員は、研究資金を用いて研究等する場合は、研究目的に合わせて適正に取り扱わなければならない。

(共同研究者との権利及び責任の明確化)

第9条

会員は、共同研究等において、共同研究者の権利と責任を明確にしなければならない。

(ハラスメント行為の禁止)

第10条

会員は、研究活動等において、いかなるハラスメント行為もしてはならない。

(綱領の周知及び理解の促進)

第11条

本学会および会員は 本綱領の周知・理解と実行へ向けた研鑽の機会を持たなければならない。

(綱領遵守義務)

第12条

本学会および会員は本倫理綱領を十分に理解し、その徹底に努めなければならない。

(違反行為への対応)

第13条

会員が倫理綱領に違反する行為を行った場合には、本学会は会員の研究活動の公正性を確保するため、理事会が倫理問題調査委員会を設置しその事態に対応する。

(変更の手続き)

第14条

この本倫理綱領を変更するときは、理事会および総会の決議を経なければならない。

附則

本倫理綱領は、2018年12月1日から施行する。